

令和8年度

評価から評定への統括方法

江戸川区立南小岩第二小学校

○新学習指導要領下の指導要録における観点別学習状況、評定及び特別活動の記録について

文部科学省においては、学習指導要領の下での指導要録の作成の参考となるよう、平成13年4月27日付で初等中等教育局長から「小学校児童指導要録、中学校生徒指導要録、高等学校生徒指導要録、中等教育学校生徒指導要録、並びに盲学校、聾学校及び養護学校の小学部児童指導要録、中学部生徒指導要録及び高等部生徒指導要録の改善等について（通知）」（以下「指導要録の改善通知」という。）を発出した。

指導要録の改善通知においては、答申の提言内容を受け、新学習指導要領の下での指導要録に記載する事項として、小学校、中学校ごとに各教科の学習の記録、特別活動の記録など各欄の記入方法が示されている。

○観点別学習状況及び評定について

指導要録の改善通知に示された小学校児童指導要録及び中学校生徒指導要録における観点別学習状況及び評定の記入方法は、次のとおりである。

【小学校児童指導要録】

《各教科の学習の記録》

I 観点別学習状況

学習指導要領に示す各教科の目標に照らして、その実現状況を観点ごとに評価し、A、B、Cの記号により記入する。その表示は次のとおりである。

「十分満足できると判断されるもの」：A

「おおむね満足できると判断されるもの」：B

「努力を要すると判断されるもの」：C

II 評定（第3学年以上）

学習指導要領に示す各教科の目標に照らして、その実現状況を総括的に評価し、3、2、1により記入する。その表示は次のとおりである。

「十分満足できると判断されるもの」：3

「おおむね満足できると判断されるもの」：2

「努力を要すると判断されるもの」：1

○学期ごとにおける単元ごとの観点別学習状況の総括

- ・各学期の評価が同じ場合は、学期末の総括も同じ評価とする。（BBB→B）
- ・各学期の評価が同一でない場合は、出現率の高いものを重視しながら状況に合わせた評定とする。

（例）

単元1			単元2			単元3		
知技	思考	主体	知技	思考	主体	知技	思考	主体
A	B	A	B	B	A	A	B	A



知識・技能	思考・判断・表現	主体的
A	B	A
ABAの時	BBBの時	AAAの時

○年度・学年末における観点別学習状況の評価の総括及び評定への総括

- ・総括した観点の評価が同一でない場合は、出現率の高いものを重視しながら状況に合わせた評定とする。

(例)

第1学期			第2学期			第3学期		
知技	思考	主体	知技	思考	主体	知技	思考	主体
A	B	B	A	B	A	A	B	A



知識・技能	思考・判断・表現	主体的
A	B	A
AAAの時	BBBの時	BAAの時
評定3		

- 各観点がすべてAならば⇒評定は3となる（2、1にはならない）
- 各観点がすべてBならば⇒評定は2となる（3、1にはならない）
- 各観点がすべてCならば⇒評定は1となる（3、2にはならない）

例えば・・・A（3点）B（2点）C（1点）とすると

BBB（6点⇒「2」）を基準とすると以下のようにまとめることができる

AAA（9点）	→3
AAB（8点）	→3
AAC（7点）	ABB（7点）→2
BBB（6点）	ABC（6点）→2
ACC（5点）	BBC（5点）→2
BCC（4点）	→1
CCC（3点）	→1

※1・2年生は、評定は行わない

※実態に応じて、この上の数値の限りではない評定算出を行う可能性がある